

運河ルネサンスによる取組（朝潮地区）

＜令和3年度＞

① 朝潮運河と周辺水域クルーズ 主催：朝潮運河ルネサンス協議会

平成22年度から、朝潮運河でのハゼ釣り調査と、朝潮から両国を巡る運河探訪のイベントを実施している。今年度は、10月16日（土）、17日（日）に第11回として「朝潮運河と周辺水域クルーズ」を実施した。

モーターボート4艘を使用し、新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで参加者54名が2～4名のグループごとに乗船してクルーズを実施した。

自分たちの住む町を運河側から見るのが初めての方がほとんどであり、運河に興味をもつきっかけ作りと、運河の魅力を感じてもらえるイベントとなった。



クルーズの様子

② 石倉カゴを用いた生き物の生息場づくり（朝潮運河いきものルネサンス） 主催：朝潮運河ルネサンス協議会・東京水産振興会・東京海洋大学

令和3年度より生き物の棲み処としての朝潮運河の再発見と住民・子供達の里海を目指して「朝潮運河いきものルネサンス」の取組を開始した。今年度は、生き物の棲み処となる「石倉カゴ」の設置と生き物調査、豊海小学校での出前授業を行った。



③ 地域合同水辺の防災フェスティバル 主催：水の都中央区をつくる会

「地域合同水辺の防災フェスティバル」として、11月13日（土）に、水辺を活用した防災ネットワークの確立を目的としたイベントを、ザ・トキョウズの公開空地・豊海運動公園の親水テラス・朝潮運河にて実施した。臨港消防署の協力のもと防災クルーズや、地元消防団のご協力のもと防災体験としてAED体験・消火器の取り扱いのレクチャー等に加え、今回はスタンプラリーを行い親子での参加が多く、楽しみながら学んでいただく機会になった。水辺を活用した“防災網”の確立、ウォーターフロントの街として誇れるよう引き続き活動をしていく。

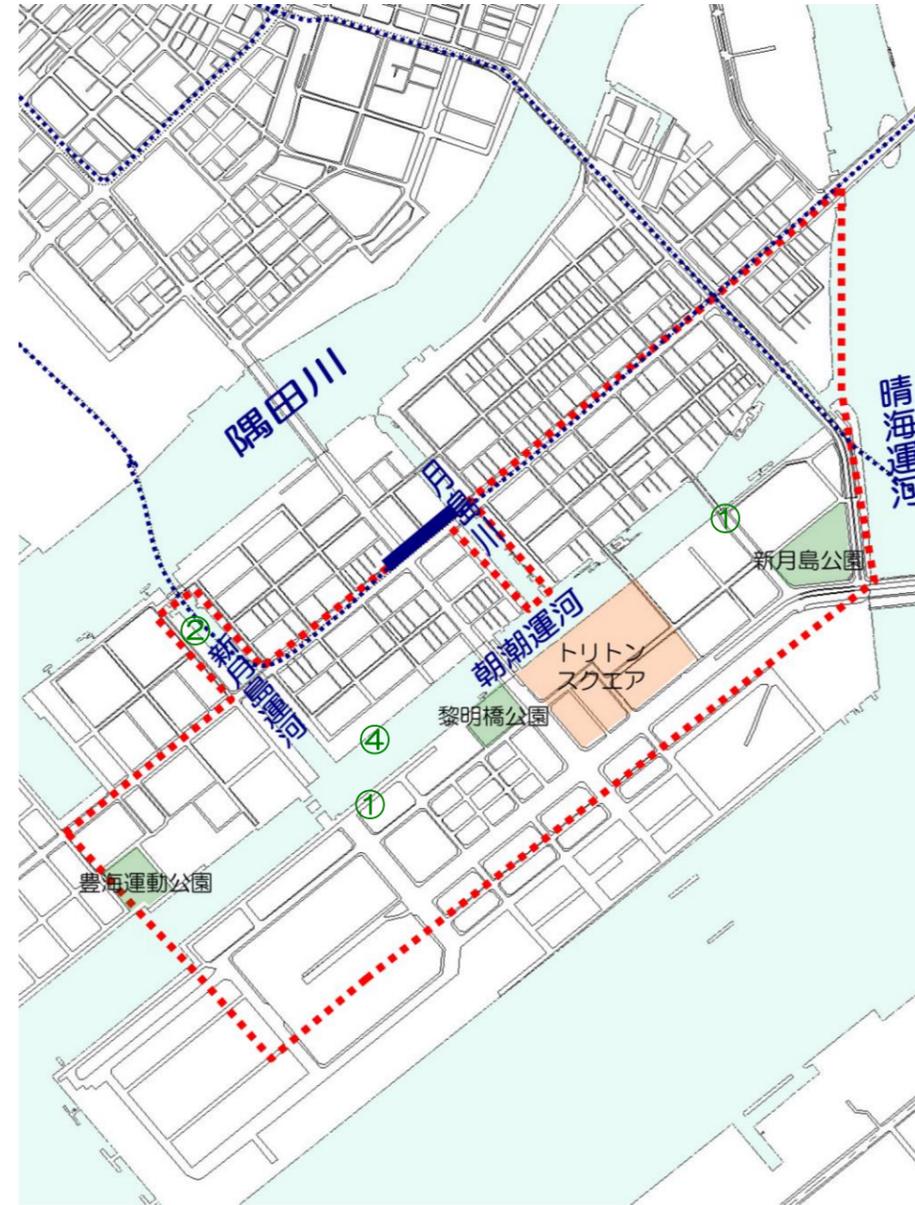


防災クルーズ乗り場

開閉式安全柵の扉

防災クルーズ(出航中)

親水護岸からの乗下船



④ 勝どき東地区第一種市街地再開発事業 事業者：勝どき東地区市街地再開発組合

勝どき二丁目、四丁目の一部の3.77haにおいて地権者が主体となる第一種市街地再開発事業によるまちづくりの事業計画。平成26年6月都市計画決定、平成27年11月再開発組合設立、再開発事業により、朝潮運河側の護岸上部を水辺に親しめる空間となるような整備、晴海側とつなぐ人道橋の設置などを検討している。



着工前の朝潮運河からの様子



現在の朝潮運河からの様子

防災船着場
人道橋設置予定



完成イメージ（予定）

朝潮運河ルネサンス協議会

（協議会の活動）

H18.1 協議会設立

H18.3 推進地区指定